



病院長就任のご挨拶

このたび、寿泉堂香久山病院の院長に就任いたしました柴 信行です。
自己紹介を兼ねまして就任のご挨拶を申し上げます。
私は、小学生までを父の勤務先のあった福島市で育ち、
その後は両親の実家がある仙台市で過ごしました。



病院長 柴 信行

1986年に東北大学医学部に入学し、卒業後は
国立循環器病センターで最新の循環器医療を学び、東北地方の
いくつかの病院で地域医療に従事しました。2000年からは
米国スタンフォード大学で心臓移植医療を学び、2002年から
東北大学病院で東北初の心臓移植に従事し、東日本大震災の折には、
震災・津波被害で大混乱した宮城県の医療復興にも携わってまいりました。
2011年9月からは栃木県の国際医療福祉大学病院で循環器センターや医学部の
立ち上げに奔走し、医学部設立後は、実習ディレクターとして医学生の教育に傾注して
参りました。医学生にいつも話していたのは、人の役に立つ医師になるには、人間が
生まれ、育ち、暮らして老いていく実社会や地域にあるさまざまな現実を学び、全ての
人々の思いを理解して共感していくことが必要だということです。

香久山病院に入院なさっている方たちの多くは、人生の後半にあつて、ひとりひとりが、
誰にもひけをとらない「思い出」や「花」をたくさんお持ちになっています。患者さんや
ご家族の思いや尊厳をしっかりと守りながら、個別の考え方を尊重して、寄り添いながら
共に生きていく医師や病院でありたいと考えています。一方わが国は多死社会を迎え、
全ての国民が生と死について考えを深めなければならない時代が到来しています。
私たちは、人生の最期をどう生きるかについて患者さんやご家族とともに真摯に取り組み、
そして学んでまいりたいと思います。

少子高齢化を背景にして地域包括ケアシステムや共生型社会の推進が叫ばれ、
DXやAIが医療と介護の世界にも必要不可欠になってまいりました。過去や現在を
しっかりと踏まえ、未来に向けて持続可能なシステムを作り地域と連携することが
重要です。そしてそれを実現できる医療者・介護者を育て、「患者さん第一」の
「心のかよう医療と介護」を実践してまいりたいと考えています。皆様からの
忌憚のないご意見を大歓迎いたします。今後とも、どうぞよろしく願います。



介護医療院へ入所中の利用者様へお知らせ

この度、令和6年4月1日より寿泉堂香久山病院の
院長交代により、介護医療院の管理者が変更となります。
また、介護報酬改定に伴い運営規程に追記がありましたので
以下の通りお知らせさせていただきます。

○管理者

(前) 春山 和見 → (新) 柴 信行

○運営規程の追記事項

- ・業務継続計画の策定
- ・虐待の防止のための措置に関する事項



《 facebook



Instagram



JUSENDO_KAGUYAMA

YouTube情報発信中》



SDGs

各種イベントや病棟の
レクリエーション、病院近隣の
情報などいろいろな情報を
発信しております。
フォロー・いいねお待ちしております

